PRESS RELEASE

ADASTRIA
Play fashion!

2018 年 7 月 4 日
株式会社アダストリア

同調圧力に疲れている女性が多数いることが判明！

2018 年後半に向けて「忖度」をやめ、自分らしさを解放する兆し

- 女性の 8 割以上は「周りの目を気にせず、好きな服を着たい」
- ひとりが最高！ひとりカラオケ、ひとり焼肉・ひとりライブ願望
- 女性たちの『憧れの生き方』1 位はマツコ・デラックス

株式会社アダストリア（本部：東京都渋谷区、代表取締役 会長兼社長：福田三千男）は、社内の研究機関である「アダストリア スタイル研究所」において、株式会社博報堂(本社:東京都港区　代表取締役社長　水島正幸)の協力のもと、ヒット商品よりもヒット習慣を生み出す事を目的とした「ヒット習慣メーカーズ」を利用し、女性のリアルなスタイルをとらえる「リアルスタイル・サーベイ」を実施しました。(対象：働く女性・育児ママ・女子大生　各N=309 調査期間：2018 年 5 月 19 日～20 日)

2017 年流行語大賞となった「忖度(そんたく)」「インスタ映え」ですが、2018 年になり、他人の心をおしはかる女性(対象の働く女性・育児ママ・女子大生あわせて)が 7 割を超え、女子大生の半数が「乗り気でないのに、友達の投稿にいいね！をつける」など、空気を読んだ行動をしていることが、今回の調査でわかりました。

ADASTRIA STYLE 研究所

ヒット習慣メーカーズ

■2018 年後半に向けて、同調圧力からひとときでも自分らしさを解放したい！

空気を読む行動に疲れているという女性たちは、「自分らしさを解放したい」という意識を強め、2018 年後半に向けて「周囲の空気を読まなくてもいい生活をしてみたい」と答えた人が 7 割以上、「自分のやりたいことをやってストレスを発散したい」と答えた人が約 9 割、「周りの目を気にせず、好きな服を着たい」と答えた人が約 8 割にのぼり、女性たちの「忖度せずに自由に素直に、自分らしさを解放したい」という行動変容が、調査から読み取れました。

■好きなファッションに挑戦！ひとりで〇〇！で上手に自分らしさを解放

具体的には、「たまには思いっきり買い物をする」と答えた人が約 7 割、「流行ではなく、本当に自分の好きな色やシルエットを取り入れたファッションに挑戦する」と答えた人が女子大生の約 6 割、同じく女子大生では「ひとりカラオケ、ひとりライブ/コンサート」に行くと答えた人が約 4 割で、それぞれ上手に自分らしさを解放して暮らしていることが明らかになりました。

■生き方に憧れる人物は、「マツコ・デラックス」「安室奈美恵」「石原さとみ」

また、「生き方に憧れる人物」を聞いたところ、1 位がマツコ・デラックス(15.3%)、2 位が安室奈美恵(14.8%)、3 位が石原さとみ(10.6%)。自分らしさを解放したい価値観を持つ女性たちだからこそ、言いたい事をはっきり言えるキャラクターのマツコ・デラックスに憧れを抱いている事がわかりました。

■「アダストリアスタイル研究所」について

“時代のカタチをとらえる”をテーマにかかげ、
株式会社アダストリアが設立した「スタイル」を調査・発表する研究機関。
私たちの定義する「スタイル」は、何を着るかということはもちろん、何を考え、
どこで誰とどんな風に過ごすかといったそれぞれの自分らしさを意味します。
時代を形づくっているのは、きっと一人一人の「スタイル」。
だからこそ、私たちは「スタイル」をさまざまな角度から分析することで時代のカタチをとらえ、
発信していきます。自分らしさの表現であるファッションを中心に、ライフスタイルを提案する
アダストリアならではの試みです。
WEB サイト：https://stylelab.adastria.co.jp

■博報堂「ヒット習慣メーカーズ」について

ヒット習慣メーカーズは､「モノからコトへ」と消費のあり方が変わりゆくことに着目し、「ヒット商品よりもヒット習慣を生み出していく」ことを目的とした活動です。博報堂の持つ様々なビッグデータ(※SNS 分析データ、購買データ、メディアデータなど)を活用した、あらたな習慣を生み出し、世の中に定着させていくためのメソッドを提供しています。また、「ヒット習慣予報」で新しい習慣の兆しを発信しています。
http://www.hakuhodo.co.jp/archives/column_type/hit-shukan

◆調査概要

本調査「リアルスタイル・サーベイ」は、女性のリアルなスタイル、生き方をとらえることをテーマに、2018 年 5 月 19 日(土)～20 日(日)にかけて、働く女性(20～34 歳)、女子大生(18～24 歳)、育児ママ(20～49 歳)各 309 名を対象にインターネットで行ったものです。
調査結果のレポートは、アダストリア スタイル研究所 WEB サイトにて、３回シリーズにて掲載します。
第一回レポート【働く女性編】：https://stylelab.adastria.co.jp/report180704/

◆調査サマリー

※「働く女性(20～34 歳)」「女子大生(18～24 歳)」「育児ママ(20～49 歳)」を各グループとして分析

- **女性の各グループにおいて、7 割以上が「周囲に合わせたり、空気を読んだりして行動」。**
- **「周囲の空気を読まなくても良い生活をしてみたい」女性は、各グループで約 8 割にのぼり、「周りの目を気にせず、好きな服を着たい」などファッションで自分らしさを解放したいと答えた人が 7～8 割。普段の SNS アカウントとは別に、自由に書き込みをする裏アカウントを持つ女子大生は約 5 割もいることが判明。**
- **「普段気軽にはできないけど、ちょっと思い切ってやっていること」を聞いたところ、一人でライブに行く、一人で焼肉、田舎旅行に行く、ドロドロの不倫ドラマを見るなどを実践。**
- **各グループ全体で、憧れの生き方として支持を得た芸能人・タレント 1 位は「マツコ・デラックス」。**

本件に関する報道関係者様からのお問い合わせ先
株式会社アダストリア「スタイル研究所」PR 事務局
TEL：03-5466-2050 FAX：03-5466-2128 E-mail：adastria-pr@adastria.co.jp ［担当］山田・松﨑・佐田・佐々木

◆調査結果のスコアハイライト

回答者数は、「働く女性」・「育児ママ」・「女子大生」各 309 名、各グループ合算で計 927 名

同調圧力の実態

■女性の各グループにおいて 7 割以上が、周囲に合わせたり空気を読んだりして行動し、女子大生の半数が、友達の投稿に乗り気でないのに「いいね！」をつけている。

- 「周囲に合わせたり、空気を読んで行動する方だ」が働く女性で 76.4%、育児ママで 75.4%、女子大生で 72.8%
- 面倒くさいと思いながらも「忖度（そんたく）する」ことを「いつもやっている」「たまにやっている」と回答した女性は、働く女性で 57.0%、育児ママで 49.8%、女子大生で 62.1%
- 働く女性は、「正直行きたくないのに、上司と飲みに行く」を「たまにやっている以上」が 44.0%
- 育児ママは、「面倒と思いながらも、ママ友と定期的に交流をすること」を「たまにやっている以上」が 44.3%
- 女子大生は、「本当は見せたくないけど、授業やゼミを欠席した友人にノートを見せること」を「たまにやっている以上」が 51.5%
- 女子大生は、「気をつかって、絵文字やスタンプを入れて返信してしまうこと」を「たまにやっている以上」が 68.3%

調査上の質問：あなたご自身の価値観や考え方についてあてはまるものをお選びください＜複数回答＞

- 女子大生で、「それほど乗り気ではないが、友達の投稿にいいね！をつけることがある」が 51.1%
- 「インスタ映え」な投稿を見るのが嫌になっている」が働く女性で 48.9%、育児ママで 49.2%、女子大生で 55.0%
- 女性の各グループ合算において 33.3%が「最近インスタ映えな投稿をすることに疲れている」

調査上の質問：SNS やアプリの利用に関する意識や行動について、以下の項目ごとにあなたのあてはまるものをお選びください＜TOP2＞

同調圧力への意識

■意識は「まわりの空気を読む」から「自分らしさを解放する」へ

- 「周囲に合わせたり、周囲の空気を読まなくてもよい生活をしてみたい」が、働く女性で 74.1%、育児ママで 77.0%、女子大生で 85.4%
- 「たまには、自分のやりたいことをやってストレス発散したい」が働く女性で 87.7%、育児ママで 92.2%、女子大生で 91.9%
- 「周りの目を気にせず、好きな服を着たい」が働く女性で 79.6%、育児ママで 80.9%、女子大生で 86.7%
- 「ファッションの流行に流されないスタイルに興味がある、取り入れたい」が働く女性で 76.1%、育児ママで 77.0%、女子大生で 69.9%

調査上の質問：あなたご自身の価値観や考え方についてあてはまるものをお選びください＜複数回答＞

- 女子大生の 46.9%が「普段の SNS アカウントとは別に、自由に書き込みをしている別のアカウントがある」

調査上の質問：SNS やアプリの利用に関する意識や行動について、以下の項目ごとにあなたのあてはまるものをお選びください＜TOP2＞

- 育児ママの 39.2%が「今まで取り入れたことのないスタイルのファッションで冒険したい」

調査上の質問：（周りのしがらみや建前からちょっとだけ解放されたくて行う）行動について、あてはまるものをお選びください＜複数回答＞

回答：「やりたい」と回答した割合

女性たちの「自分に素直に生きる」行動

■一人でライブにいく！ドロドロの不倫ドラマを見る！などを実践

- 女性の各グループ（合算）において 67.2%が「たまには思いっきり買い物をする」
- 女子大生の 57.6%が「流行ではなく、本当に自分の好きな色やシルエットを取り入れたファッションに挑戦する」
- 働く女性の 33.3%が「一人ライブ/コンサートに行く」
- 「ドロドロ系（不倫）ドラマをみる」は、育児ママの 40.1%

【グループごとの実践比率の多かった項目】

働く女性

・身体によくないと思いつつ、夜アイスを食べる 72.2%
・たまには思いっきり買い物をする　68.9%
・時間を気にせず YouTube に没頭する　50.5%
・流行ではなく、本当に自分の好きな色やシルエットを取り入れたファッションに挑戦する　50.5%
・異国料理を食べて、旅行気分を味わう　44.7%

育児ママ

・身体によくないと思いつつ、夜アイスを食べる 66.0%%
・たまには思いっきり買い物をする　59.5%
・ドロドロ系（不倫）ドラマを見る　40.1%
・流行ではなく、本当に自分の好きな色やシルエットを取り入れたファッションに挑戦する　40.1%

女子大生

・時間を気にせず YouTube に没頭する　78.6%
・たまには思いっきり買い物をする　73.1%
・身体によくないと思いつつ、夜アイスを食べる 71.5%
・流行ではなく、本当に自分の好きな色やシルエットを取り入れたファッションに挑戦する　57.6%
・時間を気にせずゲームアプリに没頭する　53.7%%

調査上の質問：（周りのしがらみや建前からちょっとだけ解放されたくて行う）行動について、あてはまるものをお選びください＜複数回答＞

回答：「定期的にやっている」「たまにやっている」と回答した割合

女性の各グループにおいて「思いっきり買い物」をしたり、「好きなファッションに挑戦したり」することは共通して上位にランクインしました。自分らしさを解放するほか、各グループ（合算）の 4 人に 1 人以上の女性が「ひとりカラオケ」や「ひとりでライブに行く」などと答えました。「おひとりさま」ブームがにわかに続いていますが、働く女性だけでなく、女子大生も最近は「ひとりで〇〇！」にはまる傾向にあるようです。女性たちは、普段の生活の中で少し違う事をやることで、上手に自分らしさを解放しています。

■「普段、気軽にはできないけど、ちょっと思い切ってやっていること」代表的な自由回答をタイプ別に分類

ひとりで〇〇！
- ひとりでライブ参戦（女子大生）
- ひとり焼肉、ひとり寿司、ひとりラーメン（働く女性、女子大生）
- ひとりプチ旅行（女子大生）
- ひとりで野球観戦（働く女性）
- ひとりで競馬場（働く女性）
- ひとりで動物園、プラネタリウム（働く女性）
- ひとりカラオケ（働く女性、女子大生）

体を動かす・アクティブに過ごす
- スカイダイビング（育児ママ）
- ボルダリング（女子大生）
- ダンスを踊る（育児ママ、女子大生）
- トライアスロン（育児ママ）
- ウォーキング（育児ママ、女子大生）

爆食い
- マクドナルド爆食い祭り、牛タン爆食い祭りを開催（働く女性）
- ラーメンに他の炭水化物をつける（働く女性）
- ケーキ 3 個一気食い（働く女性）
- 食べ放題や大盛注文で爆食い（女子大生）
- 暴飲暴食（女子大生）

爆買い
- 散財。好きなタレントのサイン会や握手会で思いっきり貢ぐ（女子大生）
- 洋服の大量買い。値段をきにせず好きなだけ（女子大生）
- 数万単位で一気にお金を使う（女子大生）
- 本の大量買い（女子大生）

田舎で〇〇
- 都会にない解放感を味わうため田舎旅行に行く（女子大生）
- 東京から 3 時間かけて栃木に行く（女子大生）
- 田舎に農業体験に行く（女子大生）

番外編
- ファミレスでコース料理をつくること。サラダ・スープ・メイン・デザートを注文する（働く女性）
- バーに行ってナンパされた男性と飲む（働く女性）
- グループ LINE の返事を後回しにする（育児ママ）

調査上の質問：普段、気軽にはできないけど、ちょっと思い切ってやっていることがあれば、なるべく具体的にご記入ください。＜自由回答＞
（働く女性、育児ママ、女子大生　n=各 309）

■自分らしさの解放のしかたとして「ファッション」についても多くの声

身近で手軽に自分らしさを解放する手段として、ファッションを上手に活用している人が、多数いることがわかりました。(自由回答抜粋)

- 休みの日でお出かけする時には、普段仕事では着ないようなちょっと「背中が開いた服」や、仕事向きではない「かごバック」など、普段と違う格好をして気分転換をしている(26 歳・働く女性)
- 最近スニーカーが多いが、久しぶりにヒールをはいた。ヒールはスキニーとかでも合うし、女性らしさが出る気がする(21 歳・働く女性)
- ネット通販で、興味のあった、今までに着たことがないテイストの洋服を思い切って買う(30 歳・育児ママ)
- 年齢や TPO を考えるとなかなか購入できない自分が着てみたい色物、柄物の洋服だが、子どもに思い切り自分好みの趣味の洋服を着せている(32 歳・育児ママ)
- 学校がない日に自分の攻めた服を着る(20 歳・女子大生)
- 学校だと目立つので着ることができない派手な服を、ちょっと思い切って着てみた(19 歳・女子大生)

調査上の質問：普段、気軽にはできないけど、ちょっと思い切ってやっていることがあれば、なるべく具体的にご記入ください。＜自由回答＞
（働く女性、育児ママ、女子大生　n=各 309）

現代女性の「生き方に憧れる有名人」ランキング

■　言いたいことをはっきり言えるキャラクター「マツコ・デラックス」が１位に

調査で、「生き方に憧れる人物」を聞いたところ、1 位がマツコ・デラックス(15.3%)、2 位が安室奈美恵(14.8%)、3 位が石原さとみ(10.6%)で、自分らしさを解放したい女性たちは、言いたい事をはっきり言えるキャラクターのマツコ・デラックスに憧れを抱いていることがわかりました。2 位は、今年 9 月に芸能界をきっぱりと引退する安室奈美恵さん、3 位は自由で変幻自在なイメージのある石原さとみさんが続きました。

生き方に憧れる有名人ランキング（各グループ合算）

1 位	**マツコ・デラックス**
2 位	**安室奈美恵**
3 位	**石原さとみ**
4 位	**渡辺直美**
5 位	**北川景子**

【グループ別のランキング】

働く女性	育児ママ	女子大生
1 位　安室奈美恵	1 位　安室奈美恵	1 位　マツコ・デラックス
2 位　マツコ・デラックス	2 位　マツコ・デラックス	2 位　石原さとみ
3 位　石原さとみ	3 位　長谷川潤	3 位　ローラ
4 位　渡辺直美	4 位　北川景子	4 位　新垣結衣
5 位　北川景子	5 位　天海祐希	5 位　渡辺直美

調査上の質問：あなたが「生き方に憧れる」と思う人物 1 位～3 位までお選びください。(1～3 位の合算値が最も高い順にランキング n=927)

【リアルスタイル・サーベイ 調査概要】
調査元：マクロミル
調査期間：2018 年 5 月 19 日（土）～5 月 20 日（日）
調査方法：インターネット調査
調査対象者：(東京都在住)
働く女性（20～34 歳／フルタイム勤務者）309 名、
女子大生（18～24 歳／大学・短大・大学院生）309 名、
育児ママ（20～49 歳／末子が未就学児）309 名

■アダストリアについて
株式会社アダストリア(代表取締役 会長兼社長：福田三千男)は、「グローバルワーク」「ニコアンド」「ローリーズファーム」など、グループで 20 を超えるブランドを国内外で約 1,500 店舗を展開するカジュアルファッション専門店チェーンです。“ファッションと人生を楽しみながら、たくさんのワクワクを世界に届けていきたい”という想いを込め、「Play fashion!」をコーポレートスローガンとして掲げています。

本件に関する報道関係者様からのお問い合わせ先
株式会社アダストリア「スタイル研究所」PR 事務局
TEL：03-5466-2050 FAX：03-5466-2128 E-mail：adastria-pr@adastria.co.jp ［担当］山田・松﨑・佐田・佐々木